



# 薬物乱用防止教室

6年生が、毎年恒例の学習会です。

知ることこそが、  
生きることを支えてくれる。

上の写真は、子どもたちが、一番反応した衝撃の写真です。薬物を使用している人は、こんなものが、見えるんだ！見えないものが、あたかも目の前にあるかのような錯覚。衝撃と同時に、その怖さを実感し、大きな溜息が漏れました。

たとえ一回だけでも、「乱用」！ 思うように字や絵が、かけなくなる！



耐性:薬物を繰り返し使用することで、同じ量では効かなくなる！

依存性：こころも体も薬物の虜になってしまい、自分の力では、やめられなくなる！

禁断症状:薬物の使用をやめたり、中断したり、減量したりすることにより、心や体に、けいれん、ふるえ、よだれ、吐き気などの症状が現れる！

中毒:薬物の乱用により、生命が危険な状態になる！

フラッシュバック:薬物乱用をやめたのに、睡眠不足やストレスなどがきっかけで、突然精神異常が発現する！幻覚や妄想に何年も苦しめられる！



危険なものには、決して近づかず、幸せな人生を。

卒業を前に、未来を思い描きます。

そして、薬物の危険は、遠いところの話ではなく、私たちの住む福井にも潜んでいることを知りました。

実際に高校生が覚醒剤を使用したこと、中学生が大麻を購入したこと、危険ドラッグが製造・販売されていたことを知りました。

また、「薬物は、どんなふうに関体の中に取り入れるのですか」と質問し、「飲む、煙のように吸う、注射で打つ」などの方法があることを知りました。

今日得た知識、そこから抱いた思いを、これからの人生にしっかりと生かして行って欲しいと思います。

振り返りより

☆薬物の使用を、どんなに誘われても、どんなことがあっても、断りたい。

☆フラッシュバックが、一番怖いと思った。もうやめたと思っても、また苦しいことが始まってしまうからだ。絶対薬物乱用はしないようにしたい。

☆テレビなどの情報から、薬物については知ってはいた。が、今日の授業で、自分たちの身近にも危険があることを改めて知った。気をつけていきたい。

☆まさか、こんな身近なところにも事件が起こっていたことに驚いた。僕たちは絶対に、危険に近づかないようにしたい。